

分野	専門基礎分野 - 疾病の成り立ちと回復の促進 -	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	病態生理学各論 Pathophysiology Particular 脳神経系・運動器系	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	脳・神経系・運動器系の機能障害の病態と症状、検査、治療について学ぶ		
目標	脳・神経系・運動器系の機能障害の病態と症状、検査、治療について理解する。		
評価方法	終講試験 脳神経系 60点 運動器系 40点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門 脳・神経 【7】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 運動器 【10】成人看護学 医学書院		
参考図書			
メッセージ	授業を楽しんでください。理解して考えることにより記憶、記録しましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	様々な脳神経疾患の病態・治療	脳血管障害の病態と治療を学ぶ	脳血管障害の病態と治療	講義	
2		頭部外傷の病態と治療を学ぶ	頭部外傷の病態と治療	講義	
3		脳腫瘍の病態と治療を学ぶ	脳腫瘍の病態と治療	講義	
4		中枢神経系、感染症、変性疾患の病態と治療を学ぶ	中枢神経系、感染症、変性疾患の病態と治療	講義	
5	運動器に多い疾患・治療・検査	運動器系の各疾患における病態と治療を学ぶ	骨折、骨粗鬆症、リウマチ、運動器疾患の薬物療法（ステロイド、ワファリン）	講義	
6			頸髄損傷、外傷、ショック、神経麻痺、発育性股関節形成不全（DDH）	講義	
7			腫瘍、ヘルニア、痛風	講義	
8			終講試験		

<b>分野</b>	専門基礎分野 - 疾病の成り立ちと回復の促進 -	<b>対象学年</b>	2
		<b>時期</b>	前期
<b>授業科目</b>	病態生理学各論 Pathophysiology Particular 糖尿病・内分泌・感染症・感覚器・皮膚科 女性生殖器・自己免疫疾患・乳房疾患	<b>単位</b>	1
		<b>時間</b>	15
		<b>方法</b>	講義
<b>担当教員</b>	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
<b>科目責任者</b>	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
<b>授業概要</b>	糖尿病・内分泌・感染症・感覚器・皮膚科・女性生殖器・自己免疫疾患・乳房疾患における病態生理を学ぶ		
<b>目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糖尿病の病態と検査・診断の概略を理解する。</li> <li>2. 糖尿病の治療と合併症について理解する。</li> <li>3. 内分泌の概念について理解する。</li> <li>4. 内分泌の診断、治療について理解する。</li> <li>5. 感染症の病態、検査、治療について理解する。</li> <li>6. 感覚器の病態、検査、治療について理解する。</li> <li>7. 皮膚疾患の病態、検査、治療について理解する。</li> <li>8. 代表的な女性生殖器疾患の病態生理及び診断のための検査と主な治療について理解する。</li> <li>9. 免疫とアレルギーについて理解する。</li> <li>10. 乳房疾患の病態、検査、治療について理解する。</li> </ol>		
<b>評価方法</b>	終講試験 糖尿病 16点・内分泌 12点・感染症 12点・感覚器 12点・皮膚科 12点・女性生殖器 12点・自己免疫疾患 12点・乳房疾患 12点		
<b>使用テキスト</b>	系統看護学講座 専門 内分泌・代謝【6】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 女性生殖器【9】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 アレルギー 膠原病 感染症【11】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 皮膚【12】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 眼【13】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 耳鼻咽喉【14】成人看護学 医学書院		
<b>参考図書</b>			
<b>メッセージ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病は国民の罹患率が高い生活習慣病の代表的な疾患です。皆さんが臨床で糖尿病をもつ方に出会うことも多く、また国家試験にも必ず出題される疾患でもあります。既習の形態機能学や薬理学などの知識を確認しながら、糖尿病についての理解を深めてください。</li> <li>・内分泌による生体機能の調節とその乱れによる内分泌疾患を理解しましょう。ホルモン分泌・作用については解剖生理の知識と照らし合わせて学習しましょう。</li> <li>・身近なところから感染は発症します。疾患の病態生理について理解を深めていきましょう。</li> <li>・皮膚及び感覚器系に関する疾患の病態生理について理解を深めていきましょう。</li> <li>・母性看護実践論 と関連させながらウィメンズヘルスの視点を持ち、女性生殖器疾患に関する知識を深めていきましょう。</li> <li>・免疫の働きを理解してアレルギー疾患と自己免疫疾患、特に膠原病の病態、治療の理解を深めましょう。</li> <li>・乳房疾患は年々増えています。自分の体として興味関心を持ち理解を深めてください。</li> </ul>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	糖尿病について	糖尿病について学ぶ	糖尿病の病態の理解 ・ 血糖とは ・ 血糖値の下がる仕組み ・ 高血糖 ・ 糖尿病の症状 ・ 糖尿病の成因分類と特徴 ・ 糖尿病の診断	講義	
2	糖尿病の治療と合併症	糖尿病の治療、合併症について学ぶ	糖尿病の治療 ・ 食事療法 ・ 運動療法 ・ 薬物療法 糖尿病の合併症 ・ 糖尿病網膜症 ・ 糖尿病腎症 ・ 糖尿病神経障害 ・ 糖尿病足病変 糖尿病の急性合併症 ・ 糖尿病ケトアシドーシス ・ 高浸透圧高血糖症候群 ・ 低血糖 ・ シックデイについて	講義	
3	内分泌疾患について	内分泌の概念と診断、治療について学ぶ	内分泌の概念・内分泌制御・内分泌器官 内分泌疾患	講義	
4	感染症について	感染症の病態、検査、治療について学ぶ	感染症総論、身近な感染症	講義	
5	感覚器疾患と検査及び治療	感覚器の病態、検査、治療について学ぶ	耳・鼻・咽喉頭の解剖生理と代表的な疾患の治療について 喉頭癌	講義	
6	皮膚疾患と検査及び治療	皮膚疾患の病態、検査、治療について学ぶ	皮膚の解剖生理、検査、治療について 悪性黒色腫、アトピー性皮膚炎、湿疹、蕁麻疹、中毒疹、帯状疱疹	講義	
7	女性生殖器疾患と検査および治療	代表的な女性生殖器疾患の病態生理及び診断のための検査と主な治療について学ぶ	子宮の腫瘍性疾患の病態・検査・治療 ・ 子宮頸癌と子宮体癌 ・ 子宮筋腫・子宮腺筋症 卵巣の腫瘍性疾患の病態・検査・治療 ・ 卵巣良性・悪性腫瘍 子宮内膜症の病態・検査・治療 女性生殖器疾患の主な治療と治療に伴う障害及び副作用	講義	
8	アレルギー疾患と自己免疫疾患について	免疫とアレルギーについて学ぶ	免疫系の働き アレルギー疾患の病態と治療 自己免疫疾患の病態と治療	講義	
9	乳房疾患について	乳房疾患の病態、検査、治療について学ぶ	乳腺疾患一般	講義	
10			終講試験		

分野	専門基礎分野 —疾病の成り立ちと回復の促進—	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	病態生理学各論Ⅲ Pathophysiology Particular Ⅲ 呼吸器・循環器・血液・造血器	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	呼吸器・循環器・血液・造血器における病態生理を学ぶ		
目標	1. 呼吸器・循環器のしくみと働きを理解し、代表的な疾患の病態生理を理解する。 2. 呼吸器・循環器・血液・造血器の代表的な検査の概略を理解する。 3. 呼吸器・循環器・血液・造血器の代表的な疾患の治療の概略を理解する。		
評価方法	終講試験 呼吸器 35 点・循環器 35 点・血液・造血器 30 点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 呼吸器【2】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 循環器【3】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 血液・造血器【4】成人看護学 医学書院		
参考図書			
メッセージ	形態機能学や生化学、薬理学といった既習の知識とつなげながら学ぶことで理解しやすくなります。代表的な疾患や検査・治療が「わかる」ことを目指して授業に臨んでほしいと思います。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	呼吸器の解剖と機能 症状と症候	呼吸器の構造・機能と主な症状・症候を学ぶ	呼吸器と構造と機能 主な症状と徴候	講義	
2	呼吸器の代表的な検査	呼吸器の代表的な検査を学ぶ	呼吸器の代表的な検査 打診・聴診・胸部の画像検査、呼吸機能検査、動脈液ガス分析、内視鏡検査、組織検査、胸腔穿刺	講義	
3	呼吸器に多い疾患・治療・検査	呼吸器の代表的な疾患と治療を学ぶ	疾患 1 気管支喘息と吸入療法、呼吸不全の病態、酸素吸入療法、人工呼吸療法、気管挿管と気管切開、呼吸器疾患の薬物療法、呼吸器感染症、肺真菌症、肺結核と非結核性抗酸菌症	講義	
4		呼吸器の代表的な疾患と治療を学ぶ	疾患 2 COPD、呼吸リハビリテーション、間質性肺疾患、肺水腫とARDS、肺・血管の形成異常、気胸と胸膜疾患、縦隔疾患	講義	
5		呼吸器疾患の外科的治療の特徴と肺切除術後管理と合併症について学ぶ	呼吸器疾患の内科的治療と外科的治療 肺癌と肺転移性腫瘍、悪性中皮腫、肺切除術の術前評価と術後管理と合併症、肺移植	講義	
6	循環器の解剖生理、循環器疾患の病態	循環器の解剖生理、高血圧について学ぶ	循環器の構造と機能 症状と病態生理 高血圧について	講義	

専門基礎分野

7	不整脈疾患の検査及び治療	心電図、不整脈について学ぶ	心電図について 不整脈 徐脈性不整脈 頻脈性不整脈 不整脈の治療	講義	
8	虚血性心疾患の検査及び治療	虚血性心疾患について学ぶ	虚血性心疾患について 労作性狭心症 不安定狭心症 心筋梗塞 虚血性心疾患の治療	講義	
9	心不全の病態・治療	心不全について学ぶ	心不全 心不全の病態とその分類 診断 心不全の治療	講義	
10	後天性心疾患、動脈疾患の検査及び治療	後天性心疾患、動脈疾患について学ぶ	後天性心疾患、動脈疾患について 弁膜症、心膜炎、心筋炎 大動脈瘤、大動脈解離	講義	
11	血液の生理と造血のしくみ	血液の生理と造血のしくみについて学ぶ	血液の成分と機能 造血のしくみ	講義	
12	血液・造血器疾患と治療	血液・造血器疾患と治療について学ぶ	赤血球系の異常 鉄欠乏性貧血 巨赤芽球性貧血 再生不良性貧血 溶血性貧血	講義	
13		症候と病態生理について学ぶ	造血器腫瘍 造血幹細胞移植 急性白血病 骨髄異形成症候群 出血性疾患 凝固異常 輸血療法	講義	
14		血液疾患で診られる主な症候 貧血、発熱、出血傾向、リンパ節腫脹・脾腫	講義		
15			終講試験		

分野	専門基礎分野 - 疾病の成り立ちと回復の促進 -	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	病態生理学各論 Pathophysiology Particular 消化器、腎・泌尿器	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	消化器、腎・泌尿器における病態生理を学ぶ		
目標	1. 消化器、腎・泌尿器のしくみと働きを理解し、代表的な疾患の病態生理を理解する。 2. 消化器、腎・泌尿器の代表的な検査の概略を理解する。 3. 消化器、腎・泌尿器の代表的な疾患の治療の概略を理解する。		
評価方法	終講試験 消化器 70点・腎疾患 20点・泌尿器 10点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門 消化器【5】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 内分泌・代謝【6】成人看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 腎・泌尿器【8】成人看護学 医学書院		
参考図書			
メッセージ	看護を学ぶには病態生理学の基礎知識が重要です。既習の形態機能学・生化学・薬理学などの知識を確認しながら、疾患についての理解を深めてほしいと思います。 消化器、腎・泌尿器の解剖生理と関連させましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	消化器の解剖生理	消化器の解剖生理について学ぶ	消化器総論（解剖・生理） 1)消化器について（消化管と消化器官） 2)症状 3)消化器疾患の診かた （問診・視診・触診・聴診・打診） 4)消化器検査（内視鏡、MDL、DDL）	講義	
2	胃・十二指腸の疾患	代表的な胃・十二指腸の消化器疾患について学ぶ	消化器疾患各論（消化管） 1)胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎、機能性胃炎、GERD、GIST、クローン病、潰瘍性大腸炎 2)胃がんの検査・診断・治療 （主に内視鏡治療：EVL、EIS、EMR、ESD）	講義	
3	食道、胃、小腸、大腸の疾患	代表的な食道、胃、小腸、大腸の疾患について学ぶ	消化器疾患各論（消化管） 1)食道癌、食道アカラシア、食道裂孔ヘルニア、イレウス、胃がん、大腸がん、虫垂炎の症状、検査・診断・治療（主に外科的治療）	講義	
4				講義	
5	肝・胆・膵の消化器内科疾患	肝・胆・膵の主な消化器内科疾患について学ぶ	消化器疾患各論（肝・胆・膵） 1)肝臓全般（良性、悪性、肝硬変、トピックス・C型肝炎など） 2)膵炎、膵臓癌、胆石症の症状・検査・診断・治療（主に内科的治療）	講義	
6				講義	
7	肝・胆・膵の消化器外科疾患	肝・胆・膵の主な消化器外科疾患について学ぶ	消化器疾患各論（肝・胆・膵） 1)胆石症、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌、肝癌、膵癌、胆道癌の検査・診断・治療 （主に外科的治療）	講義	
8				講義	

専門基礎分野

9	消化器総論	消化器総論について学ぶ	消化器総論（まとめ） 1)解剖・生理・病態のまとめ（胆石症、腹腔鏡と開腹術の違い、食道がん、胃がん） 2)インフォームド・コンセントについて	講義	
10	消化器がんについて	がんの進展様式、治療法、栄養法、ドレナージについて学ぶ	がんの進展様式、治療法、栄養法、ドレナージについて	講義	
11	腎臓内科学総論	腎臓の機能と役割、慢性腎不全の病態・症状・治療について学ぶ	腎臓病学総論 ・腎臓の機能と役割 ・腎機能検査 ・腎生検 ・各種治療（代替療法・腎移植） ・腎不全の症状	講義	
12	急性・慢性腎臓病	慢性・急性腎臓病の病態について学ぶ	・急性・慢性腎臓病の病態生理、検査 ・慢性腎不全と慢性腎臓病との違い ・I g A 腎症・糖尿病性腎症・良性腎硬化症	講義	
13	腎臓疾患各論	代表的な腎疾患の理解と治療について学ぶ	代表的な腎疾患の理解と治療 ・急性腎不全 ・慢性腎炎 ・腎盂腎炎 ・ネフローゼ症候群	講義	
14	泌尿器疾患	泌尿器の機能と役割・病態の理解・検査・治療について学ぶ	代表的な泌尿器疾患 ・過活動膀胱 ・尿路感染症 ・精巣腫瘍 ・前立腺がん ・尿路結石 ・膀胱がん 泌尿器疾患の検査と治療 ・泌尿器の画像診断について ・尿路変更術	講義	
15			終講試験		

分野	専門基礎分野 一疾病の成り立ちと回復の促進一	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	生活療法学Ⅱ Daily Life CareⅡ	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	生活療法学Ⅱでは、運動療法を単に「運動・活動のための」療法としての概念ではなく、リハビリテーションの概念を学び、障害を持ちながら生活の再構築を必要としている対象への看護に役立つ内容とする。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リハビリテーションの概念を理解できる。</li> <li>2. リハビリテーションの看護概念を理解できる。</li> <li>3. 運動器系の障害とリハビリテーション看護が理解できる。</li> <li>4. 中枢神経系の障害とリハビリテーション看護が理解できる。</li> <li>5. 日常生活動作における看護の実際が理解できる。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 95 点 レポート 5 点		
使用テキスト	系統看護学講座 リハビリテーション看護 (医学書院)		
参考図書	実践！リハビリテーション看護 (照林社)		
メッセージ	リハビリテーション看護の奥深さを知識と技術を学んで欲しいと思います。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	リハビリテーションの概念	リハビリテーションの定義と理念を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.リハビリテーションの定義と理念               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)リハビリテーションの本来の意味</li> <li>2)全人的復権としてのリハビリテーション</li> <li>3)リハビリテーションに対する国際的な理解</li> </ol> </li> <li>2.リハビリテーションの対象とその理解               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)障害者の定義</li> <li>2)ICIDH、ICD</li> </ol> </li> </ol>	講義	
2	リハビリテーション分野とリハビリテーション医療の提供	リハビリテーションの種類と特徴について知る。チームで取り組むリハビリテーションの意義と看護の役割について学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.リハビリテーション分野</li> <li>2.リハビリテーション医療の提供               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 連携職種</li> <li>2) 多職種連携のあり方 ・チームアプローチ・チームアプローチモデル</li> </ol> </li> <li>3.チームの中の看護師の役割</li> <li>3.リハビリテーション看護の定義と役割               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) リハビリテーション看護の定義</li> <li>2) 障害者への態度</li> </ol> </li> </ol>	講義	
3	リハビリテーション医療における到達目標と評価	ADLの定義と評価について学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ADL の定義</li> <li>2. ADL 評価について               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) バーテル指数</li> <li>2) 機能的自立度評価法</li> </ol> </li> <li>3. できるADL・しているADL・するADL</li> </ol>	講義	
4	障害受容と看護 障害受容と看護	障害受容過程と障害受容への働きかけ、看護について学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.障害受容過程と障害受容への働きかけ</li> <li>2.生活の再構築への援助</li> <li>3.障害受容過程と看護の役割、看護師の対応</li> <li>4.障害受容に影響を与える因子</li> </ol>		

専門基礎分野

5	障害者とのかわり	障害をもつ人の社会参加について考える	車椅子の方と社会にでよう、1日旅行計画	演習	
6	運動器疾患・脳血管疾患を持つ対象のリハビリテーション	脊髄損傷患者・脳血管障害者のリハビリテーション看護について学ぶ	1.骨折、脊髄損傷患者のリハビリテーション看護 2.脳血管障害者のリハビリテーション看護 3.ROM 訓練と MMT 4.回復過程からみたリハビリテーションの特徴	講義	
7	骨折・脊髄損傷・脳血管障害を持つ対象への援助技術	リハビリテーション看護における援助技術を実施する	フィジカルアセスメント演習 関節可動域、ROM訓練、MMT、大腿四頭筋セッティング、等尺性運動 脊髄損傷患者の移動動作（平行移動、体位変換、ブッシュアップ）	演習	理学療法士
8			終講試験		

分野	専門基礎分野 健康支援と保障制度	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	社会福祉概論 Introduction to Social Welfare	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	人々が生涯を通じて、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるように、その概略について理解することは、看護者にとって不可欠なことである。社会福祉についての概論を学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉の概念について理解する。</li> <li>2. 日本における社会福祉発達の変遷を理解する。</li> <li>3. さまざまな社会福祉の制度を理解する。</li> <li>4. 社会福祉の専門的方法について理解する。</li> <li>5. さまざまな社会保障制度について理解する。</li> </ol>		
評価方法	終講試験		
使用テキスト	新体系看護学全書 8 社会福祉 メジカルフレンド社		
参考図書			
メッセージ	わが国の社会保障制度の基礎的な知識を学ぶために、諸制度の体系、歴史も含めた幅広い分野から学ぶ。興味の薄い分野もあるだろうが、今後病院実習で患者さんを担当した時には、医療制度、福祉制度などの知識が必要となるので一生懸命学んでほしい。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	生活と福祉	生活と福祉に社会保障の概念・歴史・制度体系について学ぶ	第1章 生活と福祉	講義	
2	社会保障	社会保障の概念・歴史・制度体系を学ぶ	第2章 社会保障の概念・歴史・制度体系	講義	
3	社会保険制度	社会保険の役割と制度の分類・医療保険制度を学ぶ	第3章 わが国の社会保険制度 社会保険の役割と制度の分類・医療保険制度	講義	
4	社会保険制度	高齢者医療制度・保健医療制度・医療提供体制と国民医療費を学ぶ	高齢者医療制度・保健医療制度・医療提供体制と国民医療費	講義	
5	社会保険制度	介護保険制度について学ぶ	介護保険制度	講義	
6	社会保険制度	年金保険制度・労働保険制度について学ぶ	年金保険制度・労働保険制度	講義	
7	社会福祉	慈善事業から福祉国家まで・わが国の社会福祉の歴史を学ぶ	第4章 社会福祉の歴史と援助技術 慈善事業から福祉国家まで・わが国の社会福祉の歴史	講義	
8	社会福祉	社会福祉援助技術について学ぶ	社会福祉援助技術	講義	
9	社会福祉	生活保護法と施策について学ぶ	第5章 社会福祉の諸制度と施策 生活保護法と施策	講義	
10	社会福祉	児童福祉と施策・障害者の福祉施策について学ぶ	児童福祉と施策・身体障害児の福祉施策	講義	
11	社会福祉	障害者の福祉施策について学ぶ	障害者の福祉施策	講義	
12	社会福祉	高齢者の福祉施策について学ぶ	高齢者の福祉施策	講義	

専門基礎分野

13	社会福祉行政	社会福祉行政のしくみについて学ぶ	第6章 社会福祉行政のしくみ	講義	
14	社会保障 社会福祉行政	社会保障・社会福祉行政改革について学ぶ	第7章 社会保障・社会福祉行政改革	講義	
15			終講試験		